

工 事 設 計 書

施 行 年 度	令和元年度	契 約 番 号		上下水道部 下水道課	
		2019001289			
工 事 名	令和元年度 農業集落排水施設整備事業 山田南地区 中継ポンプ 施設工事			設 計 番 号	

施 工 場 所	伊賀市 出後、中島、真泥 地 内			設 計 ・ 積 算 年 月 日	
				令和元年9月30日	
工 種	管路施設			積算者	検算者
設 計 金 額	円 内消費税相当額			円	
工 期	令和2年3月18日 迄	中継ポンプ 施 設	10.00	箇所	
工 事 の 大 要				起 工 理 由	
令和元年度 農業集落排水施設整備事業 山田南地区 中継ポンプ施設工事				別 紙	
【補助】 中継ポンプ施設 (当初) N= 10 箇所					

中継ポンプ施設 工事価格明細書

第 0001 号 明細表 機器費

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水中汚水汚物ポンプ MP1	台				
水中渦流式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP2	台				
水中ノックログ式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP3	台				
水中ノックログ式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP4	台				
水中渦流式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP5	台				
水中ノックログ式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP6	台				
水中ノックログ式 スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP7	台				
水中渦流式(フライホイール付) スカム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP8	台				
水中ノックログ式(フライホイール付) スカム対策ノズル付		2.000			

第 0001 号 明細表 機器費

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水中汚水汚物ポンプ MP9	台				
水中渦流式 スム対策ノズル付		2.000			
水中汚水汚物ポンプ MP10	台				
水中渦流式 スム対策ノズル付		2.000			
流入バツフル	m				
SUS304 t=1.0mm φ150まで		9.000			
流入バツフル	m				
SUS304 t=1.0mm φ200まで		3.200			
中間スラブ	組				
FRP 3号マンホール用(MP6)		1.000			
合 計					

第 0002 号 明細表 輸送費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基本運賃料金		円/t				
12m以内 運搬10kmまで						
合 計						

第 0003 号 明細表 配管設備工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管用ステンレス鋼鋼管		m				
SUS304 20S 50A			23.280			
配管用ステンレス鋼鋼管		m				
SUS304 20S 65A			19.770			
配管用ステンレス鋼鋼管		m				
SUS304 20S 80A			13.980			
配管用ステンレス鋼鋼管		m				
SUS304 20S 100A			1.600			
付属材料		式				
			1.000			

第 0003 号 明細表 配管設備工

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
逆止弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 50A		8.000			
逆止弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 65A		8.000			
逆止弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 80A		4.000			
ボール弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 50A		8.000			
ボール弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 65A		8.000			
ボール弁	個				
SCS製 JIS10K フランジ 80A		4.000			
釜場工	箇所				第0001号単価表
スラム対策型 2号マンホール用		4.000			
釜場工	箇所				第0002号単価表
スラム対策型 3号マンホール用		6.000			

第 0003 号 明細表 配管設備工						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計						

第 0004 号 明細表 機械設備据付労務費						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械設備据付工		人				
合 計						

第 0005 号 明細表 一般労務費						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
設備機械工		人				
配管工		人				

第 0005 号 明細表 一般労務費

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計					

コンクリート(施工パッケージ)
 小型構造物 18-8-25 普通セメント W/C=60%以下 小型車割増無し

第 0001 号 施工単価表
 10.000 m3 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート(施工パッケージ)					CB240010(0001)
小型構造物 18-8-25(普通) W/C=60%以下 小型車割増無し	m3	10.000			
合計	m3	10.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

型枠(施工パッケージ)
 一般型枠

第 0002 号 施工単価表
 100.000 m2 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠(施工パッケージ)					CB240210(0002)
一般型枠	m2	100.000			
合計	m2	100.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

S0001 釜場工 スラム対策型 2号マンホール用		第 0001 号単価表 1.000 箇所 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート(施工パッケージ)					第0001号施工単価表
小型構造物 18-8-25 普通セメント W/C=60%以下 小型車割増無し	m3	0.320			
型枠(施工パッケージ)					第0002号施工単価表
一般型枠	m2	0.400			
コンクリート金ごて仕上げ					
床面	m2	1.270			
合 計	箇所	1.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

S0002 釜場工 スラム対策型 3号マンホール用		第 0002 号単価表 1.000 箇所 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート(施工パッケージ)					第0001号施工単価表
小型構造物 18-8-25 普通セメント W/C=60%以下 小型車割増無し	m3	0.540			
型枠(施工パッケージ)					第0002号施工単価表
一般型枠	m2	0.430			
コンクリート金ごて仕上げ					
床面	m2	2.020			
合 計	箇所	1.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

施工パッケージ単価一覧表

単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB240010(0001)	コンクリート(施工パッケージ)	m3			構造物種別	小型構造物
					コンクリート規格	18-8-25(普通)
					水セメント比	W/C=60%以下
					小型車割増	小型車割増無し
CB240210(0002)	型枠(施工パッケージ)	m2			型枠の種類	一般型枠

第 0001 号 明細表 機器単体費

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
引込計器盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) 0.4Kw SUS304 W500mm ×H1030mm×D200mm			3.000			
引込計器盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) 0.75Kw SUS304 W500mm ×H1030mm×D200mm			4.000			
引込計器盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) 3.7Kw SUS304 W500mm ×H1030mm×D200mm			1.000			
引込計器盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) 5.5Kw SUS304 W500mm ×H1030mm×D200mm			1.000			
中継ホヅ制御盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) SUS304 単独自動交互 運転 0.4Kw			3.000			
中継ホヅ制御盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) SUS304 単独自動交互 運転 0.75Kw			4.000			
中継ホヅ制御盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) SUS304 単独自動交互 運転 3.7Kw			2.000			
中継ホヅ制御盤		面				
屋外装柱型 (防雨形) SUS304 単独自動交互 運転 5.5Kw			1.000			

第 0001 号 明細表 機器単体費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
自動通報装置	基				盤内取付	
4G(LTE), 接点13点, アナログ2, データサーバ及び通報装置設定		10.000				
投込式水位計	組					
圧力式 接点6点		10.000				
合 計						

第 0002 号 明細表 電気設備据付工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
電工	人					
普通作業員	人					
電気通信技術者 据付	人					
電気通信技術員 据付	人					

第 0002 号 明細表 電気設備据付工						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計						

第 0003 号 明細表 建柱工						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート柱建柱工 8m-14cm-200kg		箇所				第0001号単価表
			10.000			
支線工 ステップブロック 1号		箇所				第0002号単価表
			10.000			
合 計						

第 0004 号 明細表 ケーブル・電線						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
引込ケーブル 600V EM-EER 5.5mm2-3C		m				
			50.800			
引込ケーブル 600V EM-EER 8mm2-3C		m				
			14.500			

第 0004 号 明細表 ケーブル・電線

1 式

(上段 : 前 回 下段 : 今 回)

細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
引込ケーブル	m				
600V EM-EER 14mm2-3C		7.300			
動力用ケーブル	m				
600V EM-CE 3.5mm2-3C		23.100			
動力用ケーブル	m				
600V EM-CE 8mm2-3C		6.600			
動力用ケーブル	m				
600V EM-CE 14mm2-3C		3.300			
動力用ケーブル	m				
600V EM-CE 2.0mm2-2C		49.500			
電線	m				
600V EM-IE 5.5mm2		77.000			
付属材料	式				
		1.000			
合 計					

第 0005 号 明細表 電線管					1 式
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別 規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘要
ポリエチレンライニング鋼管	m				屋外露出
厚鋼 PE 22		36.100			
ポリエチレンライニング鋼管	m				屋外露出
厚鋼 PE 28		50.500			
ポリエチレンライニング鋼管	m				屋外露出
厚鋼 PE 36		9.100			
付属材料	式				
		1.000			
金属製可とう電線管	m				屋外露出
ビニル被覆ポリカチューブ # 24		38.700			
金属製可とう電線管	m				屋外露出
ビニル被覆ポリカチューブ # 30		14.300			
金属製可とう電線管	m				屋外露出
ビニル被覆ポリカチューブ # 38		17.400			
耐衝撃性硬質ビニル電線管	m				屋外露出
HIVE 16		33.000			

第 0005 号 明細表 電線管						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
付属材料		式				
			1.000			
合 計						

第 0006 号 明細表 接地工						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
接地棒	D種 φ14-1,500	本				
			20.000			
合 計						

第 0007 号 明細表 その他						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
回転灯	AC200V (赤・黄)	個				
			10.000			
プルボックス	防水 SUS製 250×200×150	個				
			10.000			

第 0007 号 明細表 その他						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘要
合 計						

第 0008 号 明細表 輸送費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細別	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘要
基本運賃料金		円/t				
12m以内 運搬10kmまで						
合 計						

S0001		コンクリート柱建柱工 8m-14cm-200kg		第 0001 号単価表 1.000 箇所 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
電柱						
コンクリート柱 8m×φ140×200kg	本	1.000				
コンクリート根かせ						
A型バンド付き1,000×170×140	個	1.000				
自在バンド						
IBT-212	個	8.000				
足場ボルト						
CP用	本	15.000				
合 計	箇所	1.000				
単位当り	箇所	1.000	当り			

S0002 支線工 ステップロック 1号		第 0002 号単価表 1.000 箇所 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自在バンド 3BD-HC-12	個	1.000			
シンプル 丸型 18mm	個	1.000			
亜鉛引鋼より線 38mm2	kg	2.730			
巻付グリップ シンプル, 玉碍子用38mm2	個	2.000			
玉碍子 100mm×100mm	個	1.000			
支線ガード 硬質ポリエチレン製(黄)2.2m	本	1.000			
支線基礎材 ステップロック ロット付1号	個	1.000			
合 計	箇所	1.000			

S0002	支線工 ステープロック 1号					第 0002 号単価表 1.000 箇所 当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
単位当り	箇所	1.000	当り			

数 量 計 算 書

機 械 設 備 工 事 数 量 計 算 書

機 械 製 作 設 備 一 覧 表

山田南 地区

補助

(1 / 1)

施設番号	機 器 名 称	数 量	単 位	分 類	重 量 (t)	規 格
	[中継ポンプ施設]					
MP1	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	ボルテックス式 φ 50mm × 0.4 kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP2	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	ノンクログ式 φ 65mm × 0.75kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP3	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	ノンクログ式 φ 65mm × 0.75kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP4	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	ボルテックス式 φ 50mm × 0.4 kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP5	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	ノンクログ式 φ 65mm × 0.75kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP6	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.14	ノンクログ式 φ 80mm × 3.7kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP7	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.27	ボルテックス式フライホイール付 φ 65mm × 3.7kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP8	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.30	ノンクログ式フライホイール付 φ 80mm × 5.5 kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP9	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	ボルテックス式 φ 50mm × 0.4 kw スカム対策ノズル付着脱装置
MP10	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	ボルテックス式 φ 50mm × 0.75kw スカム対策ノズル付着脱装置
	[減勢装置]					
	流入バップル	9.0	m	7	0.004	SUS 304 t=1.0mm φ 150mm 未満
	流入バップル	3.2	m	7	0.004	SUS 304 t=1.0mm φ 200mm 未満
	[中間スラブ]					
	3号マンホール用	1	箇所	7	0.05	設置場所施設番号 MP6

機械製作(バツフル)数量計算書

山田南地区

補助

ポンプ番号	マンホールタイプ	マンホール底高	φ150mm 流入1		φ150mm 流入2		バツフル長計	φ200mm 流入1		φ200mm 流入2		バツフル長計	備考
			流入高	バツフル長	流入高	バツフル長		流入高	バツフル長	流入高	バツフル長		
MP1	2号	198.272	200.212	1.6	199.172	0.6	2.2						
MP2	3号	191.550	192.900	0.7			0.7						
MP3	3号	187.238						188.738	0.9			0.9	
MP4	2号	186.824	187.774	0.6			0.6						
MP5	3号	183.749						185.299	0.9			0.9	
MP6	3号	179.685						181.735	1.4			1.4	
MP7	3号	169.119	170.669	0.9			0.9						
MP8	3号	171.650	173.319	1.0	173.200	0.9	1.9						
MP9	2号	184.763	185.763	0.7	186.119	1.0	1.7						
MP10	2号	195.179	196.479	1.0			1.0						
合計				6.5		2.5	9.0		3.2			3.2	

バツフル長 = (流入管管底高) - (マンホール底) - H + 0.30

参考文献 下水道マンホールポンプ施設技術マニュアル P51~P52
 流入バツフル最低長を0.50mとする。

流入バツフル算出方法H寸法

マンホール種類	1号	2号	3号	4号
H (mm)	600		900	1,200

機 械 設 備 製 作 工 据 付 集 計 表

山田南 地区

補助

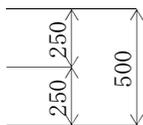
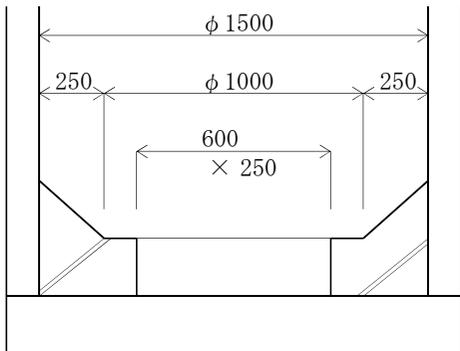
(1 / 1)

No.	機 器 名 称	数 量	単 位	分 類	単 位 重 量	歩 掛	据 付 工	普 通 作 業 員	設 備 機 械 工	重 量	摘 要
					(t)	(人)	第2類	第2類	第7類	(t)	
		①			③	②	①×②×0.9	①×②×0.1	①×②	①×③	
	[中継ポンプ施設]										令和元年度改訂版 農業集落排水施設 標準積算指針
MP1	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	0.39	0.702	0.078		0.08	
MP2	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	0.68	1.224	0.136		0.16	
MP3	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	0.68	1.224	0.136		0.16	
MP4	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	0.39	0.702	0.078		0.08	
MP5	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.08	0.68	1.224	0.136		0.16	
MP6	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.14	1.04	1.872	0.208		0.28	
MP7	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.27	1.74	3.132	0.348		0.54	
MP8	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.30	1.89	3.402	0.378		0.60	
MP9	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	0.39	0.702	0.078		0.08	
MP10	水中汚水汚物ポンプ	2	台	2	0.04	0.39	0.702	0.078		0.08	機械設備据付歩掛(P123) 第2類 : 4.8X ^{0.776} X : 1台当り重量(t)
	[減勢装置]										機械設備据付歩掛(P124) 第7類 : 4.9X X : 1台当り重量(t)
	流入バツフルφ150mm未満	9.0	m	7	0.004	0.02			0.180	0.04	
	流入バツフルφ200mm未満	3.2	m	7	0.004	0.02			0.064	0.01	
	[中間スラブ]										
	3号マンホール用	1	箇所	7	0.050	0.25			0.250	0.05	
合 計							14.886	1.654	0.494	2.32	

複合工数量計算書

No.	名 称	釜場工 (1号)	数 量	1	名 称	単 位	計 算 式	数 量		
No. 1	1号マンホール		1	コンクリート	m3	$0.40 \times 0.90^2 \times \pi / 4$	= 0.254	0 17		
							$-(0.15/3) \times \pi \times (0.45^2 + 0.45 \times 0.30 + 0.30^2)$		= -0.067	
							$-(0.25 \times 0.45 \times 0.15)$		= -0.017	
							計		0.170	
				型枠	m2	$(0.45 + 0.15) \times 2 \times 0.25$	= 0.30		0 30	
				金コテ仕上げ	m2	$0.60^2 \times \pi / 4$	= 0.283			
							$(0.15 \times 2^{0.5}) \times \pi \times (0.90 + 0.60) / 2$		= 0.500	
							$-(0.45 \times 0.15)$		= -0.068	
							計		0.715	0 72
				No. 2	2号マンホール		1		コンクリート	m3
			$-(0.20/3) \times \pi \times (0.60^2 + 0.60 \times 0.40 + 0.40^2)$					= -0.159		
			$-(0.25 \times 0.60 \times 0.20)$					= -0.030		
			計					0.320		
型枠	m2	$(0.60 + 0.20) \times 2 \times 0.25$	= 0.40					0 40		
金ごて仕上げ	m2	$0.80^2 \times \pi / 4$	= 0.503							
			$(0.20 \times 2^{0.5}) \times \pi \times (1.20 + 0.80) / 2$					= 0.889		
			$-(0.60 \times 0.20)$					= -0.12		
			計					1.272	1 27	

No.	名 称	釜場工 (3 号)	数 量	1	名 称	単 位	計 算 式	数 量						
No. 3	名 称	釜場工 (3 号)	数 量	1	名 称	単 位	計 算 式	数 量						
									3 号マンホール	コンクリート	m3	$0.50 \times 1.50^2 \times \pi / 4$	= 0.884	
												$-(0.25/3) \times \pi \times (0.75^2 + 0.75 \times 0.50 + 0.50^2)$	= -0.311	
												$-(0.25 \times 0.60 \times 0.25)$	= -0.038	
												計	0.535	0 54
										型枠	m2	$(0.60 + 0.25) \times 2 \times 0.25$	= 0.43	0 43
										金ごて仕上げ	m2	$1.00^2 \times \pi / 4$	0.785	
												$(0.25 \times 2^{0.5}) \times \pi \times (1.50 + 1.00) / 2$	1.388	
												$-(0.60 \times 0.25)$	= -0.15	
												計	2.023	2 02
No. 4	名 称	釜場工 (4 号)	数 量	1	名 称	単 位	計 算 式	数 量						
									4 号マンホール	コンクリート	m3	$0.50 \times 1.80^2 \times \pi / 4$	= 1.272	
												$-(0.25/3) \times \pi \times (0.90^2 + 0.90 \times 0.65 + 0.65^2)$	= -0.476	
												$-(0.25 \times 0.80 \times 0.30)$	= -0.060	
												計	0.736	0 74
										型枠	m2	$(0.80 + 0.30) \times 2 \times 0.25$	= 0.55	0 55
										金ごて仕上げ	m2	$1.30^2 \times \pi / 4$	= 1.327	
												$(0.25 \times 2^{0.5}) \times \pi \times (1.80 + 1.30) / 2$	= 1.722	
												$-(0.80 \times 0.30)$	= -0.24	
												計	2.809	2 81



電 気 設 備 工 事 数 量 計 算 書

電気設備（受電設備）工 数量総括表

(1/2)

工 種	名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	備 考
建柱工	コンクリート柱	8m-14cm-200kg	10	箇所	
	支線工	ステーブロック 1号	10	箇所	
ケーブル・電線	引込ケーブル	600V EM-EER 5.5mm ² -3C	50.8	m	
	〃	600V EM-EER 8.0mm ² -3C	14.5	m	
	〃	600V EM-EER 14.0mm ² -3C	7.3	m	
	動力ケーブル	600V EM-CE 3.5mm ² -3C	23.1	m	
	〃	600V EM-CE 8.0mm ² -3C	6.6	m	
	〃	600V EM-CE 14.0mm ² -3C	3.3	m	
	〃	600V EM-CE 2.0mm ² -2C	49.5	m	
	電線（接地線）	600V EM-IE 5.5mm ²	77.0	m	
	付属材料		1	式	
電線管	ポリエチレン ライニング鋼管	PE 22	36.1	m	屋外露出
	〃	PE 28	50.5	m	屋外露出
	〃	PE 36	9.1	m	屋外露出
	付属材料		1	式	
	金属製可とう電線管	プリカチューブ ビニル被覆 #24	38.70	m	屋外露出
	〃	プリカチューブ ビニル被覆 #30	14.30	m	屋外露出
	〃	プリカチューブ ビニル被覆 #38	17.40	m	屋外露出
	耐衝撃性 硬質ビニル電線管	接地線用 HIVE 16	33.0	m	屋外露出
	付属材料		1	式	

電気設備数量集計表

山田南地区

補助

(1/4)

材料拾出 番号	制 御 盤					引 込 計器盤	投込式 圧力式 水位計	通報装置	回転灯	建 柱 工				備 考
	0.4kw	0.75kw	2.20kw	3.7kw	5.5kw					コンクリト柱 φ14×8.0	支 線 ブロック1号	鋼管柱	根巻 コンクリト	
MP1	1					1	1	1	1	1	1			
MP2		1				1	1	1	1	1	1			
MP3		1				1	1	1	1	1	1			
MP4	1					1	1	1	1	1	1			
MP5		1				1	1	1	1	1	1			
MP6				1			1	1	1	1	1			
MP7				1		1	1	1	1	1	1			
MP8					1	1	1	1	1	1	1			
MP9	1					1	1	1	1	1	1			
MP10		1				1	1	1	1	1	1			
合 計	3	4		2	1	9	10	10	10	10	10			
補完率														
設計数量	3	4		2	1	9	10	10	10	10	10			

電工歩掛	1.80	1.80	2.00	2.00	2.20		0.52			0.12	1.20	0.35	1.00		電工小計
電 工	5.40	7.20		4.00	2.20		4.68			1.20	12.00	3.50			40.18
普作歩掛							0.35				2.00	0.46	1.70		普通小計
普通作業員							3.15				20.00	4.60			27.75
技術者歩掛								1.00							技者小計
電気技術者								10.00							10.00
技術員歩掛								2.00							技員小計
電気技術員								20.00							20.00
単体重量kg	100	100		105	110		25	5	2.9						重量小計
重 量kg	300	400		210	110		225	50	29						1.324
参考文献	H31 土地改良工事積算基準 (施設機械)														
	P 205	P 205	P 205	P 205	P 205		P 220	P 243	制御盤 に含む	P 220	P 191	P 192	P 194		
	2-2-5	2-2-5	2-2-5	2-2-5	2-2-5		4-3-3	5-11-2		4-3-4	1-8-1	1-8-2	1-9-2		

電 気 設 備 数 量 集 計 表

山田南 地区

補 助

(2 / 4)

材料拾出 番号	引 込 ケ ー ブ ル					動 力 ケ ー ブ ル			動 力 ケ ー ブ ル			制 御 ケ ー ブ ル		備 考	
	EM-EER 5.5-2C(15)	EM-EER 5.5-3C(15)	EM-EER 8.0-3C(20)	EM-EER 14.0-3C(20)	EM-EER 22.0-3C(30)	EM-CE 3.5-3C(15)	EM-CE 8.0-3C(20)	EM-CE 14.0-3C(20)	EM-CE 3.5-2C(15)	VCT 1.25-4C(15)	VCT 2.0-4C(15)	VCT 3.5-4C(20)	EM-CEE 1.25-2C(10)		2PNCT 1.25-2C(10)
		①				②				③				③	
MP1		6.6				3.0				(29.0)					
MP2		6.6				3.0				(5.8)					ケーブルの()書は
MP3		6.6				3.0				(4.8)					付属ケーブルのため
MP4		6.6				3.0				(11.0)					管入線の手間のみを
MP5		6.6				3.0				(11.0)					計上する。
MP6			6.6				3.0				(11.0)			(11.0)	
MP7			6.6				3.0				(11.0)			(11.0)	
MP8				6.6				3.0				(15.0)		(15.0)	
MP9		6.6				3.0				(23.0)					
MP10		6.6				3.0				(7.0)					
合 計		46.2	13.2	6.6		21.0	6.0	3.0		(91.6)	(22.0)	(15.0)		(37.0)	補完率はR1積算指針
補完率	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1						P119 表3-3-3
設計数量		50.8	14.5	7.3		23.1	6.6	3.3		(91.6)	(22.0)	(15.0)		(37.0)	

電工歩掛	0.042	0.042	0.055	0.055	0.076	0.042	0.055	0.055	0.042	0.021	0.021	0.027	0.011	0.011		電工小計
電 工		2.13	0.80	0.40		0.97	0.36	0.18		1.92	0.46	0.41		0.41		8.04
普作歩掛										0.021	0.021	0.027	0.011	0.011		普通小計
普通作業員										1.92	0.46	0.41		0.41		3.20
技術者歩掛																技者小計
電気技術者																
技術員歩掛																技員小計
電気技術員																
単体重量kg																重量小計
重 量kg																
参考文献	H31 土地改良工事積算基準 (施設機械)															
	P 175	P 175	P 175	P 175	P 175	P 175	P 175	P 175	P 175	P 174						
	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-6	1-1-4	1-1-4	1-1-4	1-1-4	1-1-4		

電 気 設 備 数 量 集 計 表

山田南 地区

補 助

(3 / 4)

材料拾出 番号	回転	アース線 (接地線)			接地極	P E ライニング鋼管					備 考	
	EM-CE 2.0-2C(15)	EM-IE 3.5(5)	EM-IE 5.5(5)	EM-IE 14(10)	D種 14×1500	PE16	PE22	PE28	PE36	PE42		
						屋外露出	屋外露出	屋外露出	屋外露出	屋外露出		
	⑤	⑥	⑦⑦'			⑥	③④⑤	①	③④			
MP1	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP2	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP3	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP4	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP5	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP6	4.5		7.0		2		3.0	5.1	0.6			
MP7	4.5		7.0		2		3.0	5.1	0.6			
MP8	4.5		7.0		2		3.0		5.7			
MP9	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
MP10	4.5		7.0		2		3.4	5.1	0.2			
合 計	45.0		70.0		20		32.8	45.9	8.3			補完率はR1積算指針
補完率	0.1	0.1	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		P119 表3-3-3
設計数量	49.5		77.0		20		36.1	50.5	9.1			

電工歩掛	0.042	0.006	0.006	0.011	0.250	0.085	0.100	0.130	0.170	0.210				電工小計
電 工	2.08		0.46		5.00		3.61	6.57	1.55					19.27
普作歩掛		0.006	0.006	0.011										普通小計
普通作業員			0.46											0.46
技術者歩掛														技者小計
電気技術者														
技術員歩掛														技員小計
電気技術員														
単体重量kg														重量小計
重 量kg														
参考文献	H31 土地改良工事積算基準 (施設機械)													
	P 175	P 174	P 174	P 174	P 199	P 173								
	1-1-6	1-1-4	1-1-4	1-1-4	1-12-1	1-1-3	1-1-3	1-1-3	1-1-3	1-1-3				

電気設備数量集計表

山田南 地区

補助

(4/4)

材料拾出 番号	金属製可とう電線管 (防水)				ビニル管		プルボックス						備 考
	フリカチュフ #17	フリカチュフ #24	フリカチュフ #30	フリカチュフ #38	接地用HIVE16		SUS250× 200×150	SUS300× 200×250					
					埋込	屋外露出							
		②③④⑤	①②	②③④		⑦⑦'							
MP1		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP2		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP3		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP4		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP5		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP6		1.0	3.0	2.4		3.0	1						
MP7		1.0	3.0	2.4		3.0	1						
MP8		1.0		5.4		3.0	1						
MP9		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
MP10		4.6	1.0	0.8		3.0	1						
合計		35.2	13.0	15.8		30.0	10						補完率はR1積算指針
補完率	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							P119 表3-3-3
設計数量		38.7	14.3	17.4		33.0	10						

薄鋼電線管の0.5倍

電工歩掛	0.040	0.050	0.055	0.075		0.035	0.040	0.30	0.38					電工小計	電工合計
電 工		1.94	0.79	1.31			1.32	3.00						8.36	75.85
普作歩掛														普通小計	普通合計
普通作業員															31.41
技術者歩掛														技者小計	技者合計
電気技術者															10.00
技術員歩掛														技員小計	技員合計
電気技術員															20.00
単体重量kg														重量小計	重量合計
重 量kg															1,324
参考文献	H31 土地改良工事積算基準 (施設機械)														
	P 173	P 173	P 173	P 173		P 170	P 173	P 189	P 189						
	1-1-3	1-1-3	1-1-3	1-1-3		1-1-1	1-1-3	1-6-1	1-6-1						

仕 様 書

共 通 仕 様 書

共通仕様書は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月）」によるものとする。
但し、共通仕様書について「第1編、第1章 総則 三重県」を伊賀市に置きかえる。
以上とするが、検査基準に於いても三重県土木工事検査基準並びに「農業集落排水施設検査・
施工管理指標（案）」によるものとする。

特別仕様書

(中継ポンプ施設工事)

第 1 章 総 則

伊賀市 農業集落排水施設整備事業 山田南地区 中継ポンプ施設工事の施工に当たっては、「三重県公共工事共通仕様書」(共通仕様書)によるほか、本特別仕様書によるものとする。

第 2 章 工事の内容

1. 目 的

本工事は、伊賀市 農業集落排水施設整備事業 (山田南地区) の一環として中継ポンプ施設を新設するものである。

2. 工事場所

三重県 伊賀市 出後・中島・真泥 地内

3. 施設の概要

- | | |
|----------|--------------------|
| 1) 対象汚水 | 生活排水 (し尿及び生活雑排水) |
| 2) ポンプ要項 | 別紙 機器一覧及び数量計算書 の通り |

4. 工事範囲

中継ポンプ施設の機械・電気設備 一式

第 3 章 工事に用いる材料

1. 機械設備

1) 構造概要 (ポンプ)

- (イ) ポンプは汚水汚物用のポンプであり、雑物や粗大固形物による目詰まりが起こりにくく、腐食や磨耗に対して堅牢であり、保守点検等が容易に行えるような機構であると共に、運転範囲に於いて原動機の過負担を生じることなく、又振動・騒音・キャビテーションの発生を防止し、長時間の連続交互運転に充分耐えるものでなければならない。またポンプは、製造工場試験成績表及び合格書を添付して、監督員の承諾を受けなければならない。

2) 各部の構造

(イ) スカム対策用水中汚水汚物ポンプ（着脱自動接続型）

- ① ポンプ形式 渦流式(異物通過粒径70%)、ノックログ式(異物通過粒径100%)
- ② スカム対策 スカム対策ノズル

(ロ) 電動機部は、乾式水中形誘導電動機とし、起動方式は7.5kW以下は直入起動とする。また、電動機保護のためモータ内部にはオートカットを装備し、参考口径がφ80以上及び出力2.2kW以上には浸水感知器を装備する。

(ハ) 電圧・極数 電圧：AC200V
極数：4極

(ニ) 周波数 60Hz

(ホ) 羽根車・ケーシング 羽根車：SCS 13
ケーシング：FC 200以上

(ヘ) 主 軸 SUS 420J2相当

(ト) 軸 封 メカニカルシール／タービン油90

3) 付 属 品

(イ) 着 脱 装 置 SCS 13 相当

(ロ) 吊上用チェーン SUS 304

(ハ) 水中ケーブル

(ニ) ガイドホルダー SUS 304

(ホ) ガイドパイプ SUS 304TPスケジュール20S 2本／台

(ヘ) その他必要なもの

4) 弁 類

(イ) 逆 止 弁 SUS製 フランジ形ボール JIS 10K

(ロ) ボ ー ル 弁 本体 SCS 13 ボール弁 SUS 304
フランジ形 JIS 10K

※弁口径は、ポンプ径と同口径とする。

5) スカム対策用ポンプ台

(イ) 釜場方式とする。

6) 投込圧力式水位計

(イ) 検 出 器

測定範囲	0～5m
測定精度	±0.5%F・S
電 源	DC 16.1～30V
出 力	DC 4～20mA
温度範囲	-5℃～50℃（凍結しない状態）
温度精度	±0.05%F・S/℃

(ロ) 変換器	精度	± 0.1% F・S
	温度範囲	- 5℃～60℃
	接点数	警報時5点 (a接点) 故障時1点
	出力	DC 4～20mA
	電源	AC 85～242V
(ハ) 主要部材質	検出器材質	本体部 SUS316 相当
	変換器材質	本体部 SECC 相当

7) フロートスイッチ

PVC製 水銀接点式フロートスイッチ

フロート本体は、耐衝撃性及び耐食性に優れ、動作が確実であり、逆円錐形状でなめらかな表面をして、異物や油膜が付着しにくい物とする。

8) 配管材料

配管材料は、配管用ステンレス鋼管(JIS G 3459) SUS304 20S を使用すること。

又、フランジはステンレス製「JIS 10K」を原則とするが、それ以外で施工されている箇所については、現場条件に合致する事。配管支持材は原則として、SUS304を使用すること。尚、設計図書に明記がない場合であっても、施設設置する上で管支持が必要な場合には、管支持を施工するものとする。

9) 流入バップル

流入管からマンホール内に流れ込んでくる汚水の勢いを減勢する装置である。

- (イ) 本体 SUS 304 t = 1 mm
- (ロ) 基礎ボルト SUS 304
- (ハ) その他必要なもの

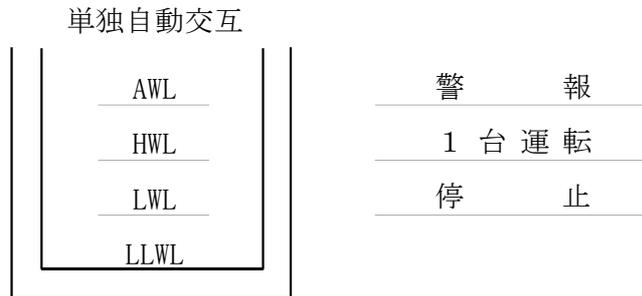
2. 電気設備

1) 電気設備器具の製造に用いる材料・部品は、次の規格及び標準規格に適合したものでなければならない。

- ・日本工業規格 (JIS)
- ・電気規格調査会標準規格 (JEC)
- ・日本電気工業標準規格 (JEM) 及び内線規程

- 2) 電気設備器具を工場製作するものについては、製作図面を作成し監督員の承諾を得て製作するものとする。

又、ポンプの運転操作要領は下記によるものとする。



操作方法および安全装置

設備名	手動	自動	運転の考え方	過負荷	漏電	備 考
中継ポンプ	○	○	水位による自動運転	○	○	運転時間計を設置する。

3) 中継ポンプ盤仕様

- ・形 式 : 屋外装柱型（鍵付き、自動通報装置設置スペース含む）
- ・面 数 : 1 面（各引込柱に取付）
- ・寸 法 : 設計図書を参照し、納品図書において決定する
- ・材 質 : SUS 304（板厚 t = 2.0mm 以上）
色・・・マンセル 5 Y 7 / 1
: 内扉 SS 400 製（板厚 t = 2.3mm 以上）
色・・・マンセル 5 Y 7 / 1
- ・盤取付用品 : 電圧計・電流計 各 1 個
集合表示灯 1 式
その他必要なもの 1 式
- ・パトライト : 停電を除く警報発生時に点灯（黄色）
地上 3.5 m 以上に設置
- ・盤内収納機器 : 進相コンデンサ、漏電遮断器、電磁接触器、配電用遮断器、
3 E リレー、補助遮断器、液面継電器、自家発電接続端子、
ヒューズ、ランプ、端子台および内部配線、その他必要なもの
- ・予 備 品 : ランプ・ヒューズ 100%

- ・その他 : 発電機接続用コンセント (防水型、制御盤外)
3相用端子 (制御盤内)
名板を付ける
表示部分は、LEDを使用
制御盤内の保温設備を改良

- ・特記事項

- (イ) 手動運転・自動運転の切替が出来るものであること。
- (ロ) 水位変動により、自動単独交互運転の出来るものであること。
- (ハ) 故障時に、警告灯 (引込柱取付) を点灯出来るものであること。
又、警告灯の試験点灯が出来るものであること。
- (ニ) 自動通報装置を利用し、他のポンプ施設のポンプ運転が異常停止した場合、連動してポンプ運転を停止、また運転が復帰した場合は運転を再開出来るものであること。なお、設定については、監督員と協議の上決定する。
- (ホ) 始動位置に達しなくても1日2回以上始動し、汚水の滞留時間を少なくすること。
- (ヘ) 水位制御装置は、AWL及びバックアップ (ポンプ強制運転) についてはフロートスイッチ、それ以外については圧力式水位制御とする。
- (ト) 避雷器 (電源回路、制御回路共) を設ける。

4) 引込開閉器仕様

- ・形式 : ステンレス製屋外取付型 (防雨型)
- ・面数 : 1面 (各引込柱に取付)
- ・盤内収納機器 : 積算電力計、配線用遮断器、切換開閉器、端子台、
その他必要なもの

- ・特記事項

- (イ) 積算電力計は、電力会社の支給する計器とする。
- (ロ) 扉には、鍵がかかること。

5) 自動通報装置 (盤内組み込み) 仕様

別紙 自動通報システム特別仕様書 による。

第 4 章 据 付 工 事

1. 施工範囲

設計図書及び本仕様書に記載するすべての機器類の搬入・据付・配管及び試運転までの一切を施工するものとし、順序及び施工方法は事前に監督員と協議の上、工程表を提出しその承諾を得てから工事を開始し、引渡しまで責任をもってこれに従事すること。

2. 機器据付

- 1) 機器の据付・配管・電気配線工事の施工に必要な、詳細据付配管配線図を契約後速やかに監督員に提出し、承諾を得なければならない。
- 2) 機器据付には周囲の環境を十分考慮すると共に、据え付ける機器の性能を確保できるように、水平・鉛直に対して細心の注意をはらい施工すること。特に軸心は、回転による振動が生じない様に留意し確実に据え付けること。
- 3) 機器の周辺にフロートスイッチを取り付ける場合には、フロートスイッチの動作を阻害しない位置に取り付けること。

3. 配管工事

- 1) フランジ等の接合に当たってのボルト・ナットは、ステンレス製焼付防止加工を用いること。
- 2) 弁類の取付位置については、保守点検時の作業性を考慮して取り外しが容易な配管接続方法とすること。
- 3) 吐出管は設計図書に記載されている材料を用い、ポンプ槽内の配管途中に逆止弁・ボール弁を設けるものとする。
- 4) 作業に当たっては、事前に監督員と十分協議の上、責任をもって施工に努めること。

4. 電気配線工事

- 1) 電気配線工事は、電気設備技術基準及び電力会社内線規程に準拠すること。
- 2) 配線は原則として、金属管又はビニール管にて保護すること。
- 3) 設置工事は配線工事完了後、所定の接地抵抗値が得られること。

5. 塗 装

塗料は耐火・耐水・耐酸性に優れたものを使用し、長期の使用に耐えられること。
又、現地据付完了後損傷・剥離がある場合は、2回以上の仕上げ塗りを行うこと。

6. 設計変更

請負者は、工事契約後設計変更しなければならない事項が発生した場合、設計変更部分の施工に当たっては、契約変更手続き完了後に着手することを原則とする。又軽微な変更については、両者協議の上変更しない場合がある。

7. その他施工全般

工事は、全て設計図書及び工事仕様書に記載された機能を完全に発揮させるよう施工するものであり、共用開始後の維持管理が容易に行えるように施工すること。設計図書及び特記仕様書に明記なき場合でも、監督員と協議の上、必要と認められたものは誠実に施工するものとする。

第 5 章 工場試験及び検査

必要な場合、機器製作完了後、工事出荷前に本市係員立会いのもとに工場試験、又は検査を実施し、その記録（試験・検査成績表・立会い写真）を本市へ提出するものとする。

但し、本市係員の立会いを省略した場合は、工場自主検査報告書（試験・検査成績表・自主検査写真）を提出し、承諾を得ること。

汎用機器は、試験・検査成績表を提出すること。

（特に本市が指示した場合は省略することができる。）

第 6 章 工事記録撮影（デジタルカメラ）

工事の施工順序に従い、必要に応じ又は監督員の指示に従ってデータを整備し、工事工程段階及び工事の完了後にデータを提出しなければならない。

第 7 章 工사용電力

この工事に使用する電力設備及び電気料金は、受注者の負担とする。なお、仮供用期間中の中継ポンプ施設にかかる電気代及び通信費は受注者の負担とする。

第 8 章 通水試験

1. 工事の完了に伴い、清水による試運転を行い機器が正常に稼働することを確認しなければならない。
2. 試運転は工期内に行うものとし、適切な人材を配置し監督員の立会を求めなければならない。又、試運転中に故障あるいは機能に不備な点が発見された場合は、直ちに監督員に報告し監督員の指示に従い補修・調整を行うものとする。

第 9 章 保証

本中継ポンプ施設の保証期間は、当該地区汚水処理施設の供用開始日より 2 年間とする。保証期間中に、請負者の設計・施工・材質及び不良に起因する事故が発生した場合は監督員に報告し、請負者の負担において速やかに補修・調整又は取り替えを行い、完全なものに復旧しなければならない。

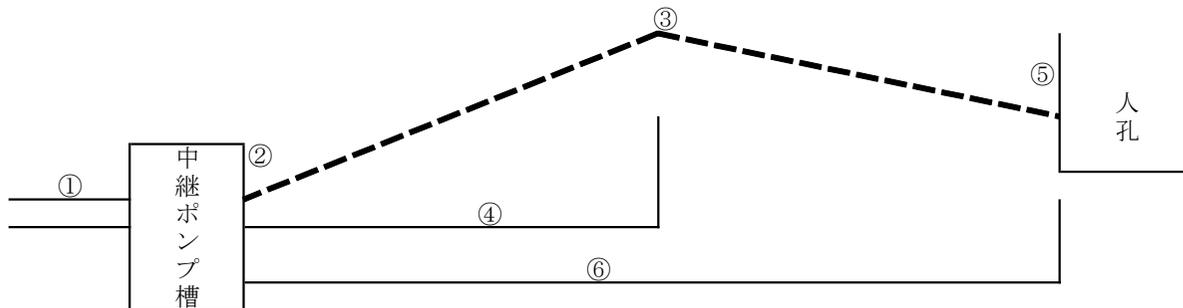
第 10 章 竣工時提出物

請負者は工事の完了に伴い、次の図書を作成し提出しなければならない。

- 1) 工事完成図書
- 2) 中継ポンプ施設の維持管理に必要な図書（ポンプ施設操作説明書等）
- 3) 各設備機器の仕様・購入先調書・カタログ等
- 4) その他監督員の指示するもの

ポンプ機器仕様一覧表

ポンプ 番号	マンホール 番号	ポンプ 槽	処理対象 総人口	上流 ポンプ の考慮	計画流入 汚水量 m ³ /s	ポンプ槽 底高 m	① 最低 流入管高 m	② 流出 管底高 m	③ 圧送管 最頂高 m	④ 最頂点 延長 m	⑤ 吐出 管底高 m	⑥ 圧送延長 m	圧送管 管種・管径	ポンプ仕様 (参考)
MP1	MP1	2号	7人	—	0.071	198.272	199.172	201.716			201.866	10.01	VP φ 50	φ 50 0.40kw (過流)
MP2	MP2	3号	627人	—	0.340	191.550	192.900	195.529	196.000	20.94	195.330	27.10	VP φ 75	φ 65 0.75kw (ノックロッグ [®])
									(内SUS 14.65)		(内SUS 16.61)		SUS 80 A	
MP3	MP3	3号	783人	—	0.424	187.238	188.738	190.609	191.370	17.77	190.509	39.35	VP φ 75	φ 65 0.75kw (ノックロッグ [®])
									(内SUS 10.76)		(内SUS 11.74)		SUS 80 A	
MP4	MP4	2号	9人	—	0.077	186.824	187.774	189.896	191.230	17.60	190.536	37.93	VP φ 50	φ 50 0.4kw (過流)
MP5	MP5	3号	819人	—	0.444	183.749	185.299	186.514	186.800	5.69	186.539	49.01	VP φ 75	φ 65 0.75kw (ノックロッグ [®])
MP6	MP6	3号	1200人	—	0.650	179.685	181.735	183.793			190.150	34.14	VP φ 100	φ 80 3.7kw (ノックロッグ [®])
											(内SUS 10.72)		SUS 100 A	
MP7	MP7	3号	14人	—	0.088	169.119	170.669	170.989	175.429	840.52	175.059	969.77	VP φ 75	φ 65 3.7kw (過流)
							(HWL=170.369)		(内SUS 10.79)		(内SUS 10.79)		SUS 80 A	フライホイール付
MP8	MP8	3号	85人	有 (MP7)	0.304	171.650	173.200	174.404			184.393	1,725.13	VP φ 100	φ 80 5.5kw (ノックロッグ [®])
														フライホイール付
MP9	MP9	2号	21人	—	0.099	184.763	185.763	187.549	187.549	1.20	187.139	179.87	VP φ 75	φ 50 0.4kw (過流)
MP10	MP10	2号	238人	—	0.208	195.179	196.479	198.285	199.127	8.80	198.371	13.25	VP φ 50	φ 50 0.75kw (過流)
									(内SUS 4.65)		(内SUS 5.46)		SUS 50 A	



注) ・③、④欄記載無き場合は、⑤、⑥欄に同じ
 ・MP8は、MP7の吐出量を留意すること。
 ・MP7、MP8については水撃作用の検討をし、負圧-7mを超える場合はフライホイール付とする。

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P1 (MP1)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

- 1) 処理対象人口 : 7 人
- 2) 型式 : 水中渦流式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は70%以上とする。
- 3) 吐出量 : 0.08 m³/min (圧送管φ50における流速0.60m/sの流量)
- 4) 実揚程 : 3.9 m
- 5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式
- 6) 運転方式 : 単独交互運転
- 7) 電極 : 4 極

2. 規格 (参考)

- 1) 口径 : φ 50
- 2) 出力 : 0.4 kw

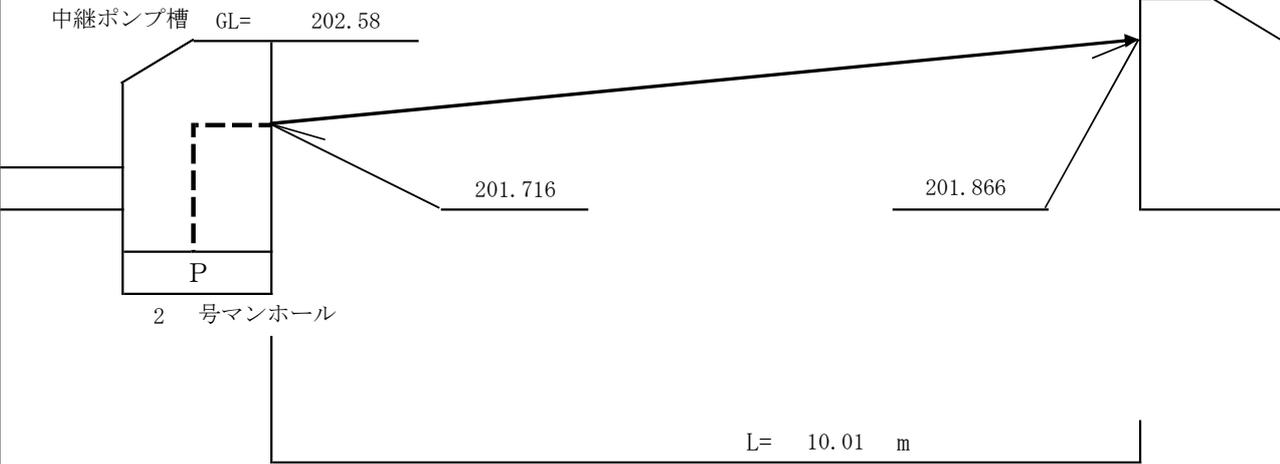
3. 主要部材質

- 1) ケーシング : FC 200 以上
- 2) 羽根車 : SCS 13
- 3) 主軸 : SUS 420J2 相当

4. 付属品

- 1) 着脱装置 : SCS 13 相当
- 2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S
- 3) ガイドホルダー : SUS 304
- 4) 吊上用チェーン : SUS 304
- 5) 水中ケーブル
- 6) オートカット
- 7) その他必要なもの : 1 式

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- AWL (警報水位) = 199.572
- HWL (起動水位) = 199.172
- LWL (停止水位) = 198.972
- ポンプ槽底 = 198.272

圧送管諸元

- 1) 管種 : 硬質塩化ビニル管
- 2) 管径 : VP φ 50
- 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P2 (MP2)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

2. 規格 (参考)

- | | | | |
|-------------|---|---------|---------|
| 1) 処理対象人口 : | 627 人 | 1) 口径 : | φ 65 |
| 2) 型式 : | 水中ノックログ式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は100%以上とする。 | 2) 出力 : | 0.75 kw |
| 3) 吐出量 : | 0.34 m ³ /min (圧送管 φ 75 における流速 0.60 m/s の流量) | | |
| 4) 実揚程 : | 5.5 m | | |
| 5) 電動機 : | 三相 200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式 | | |
| 6) 運転方式 : | 単独交互運転 | | |
| 7) 電極 : | 4 極 | | |

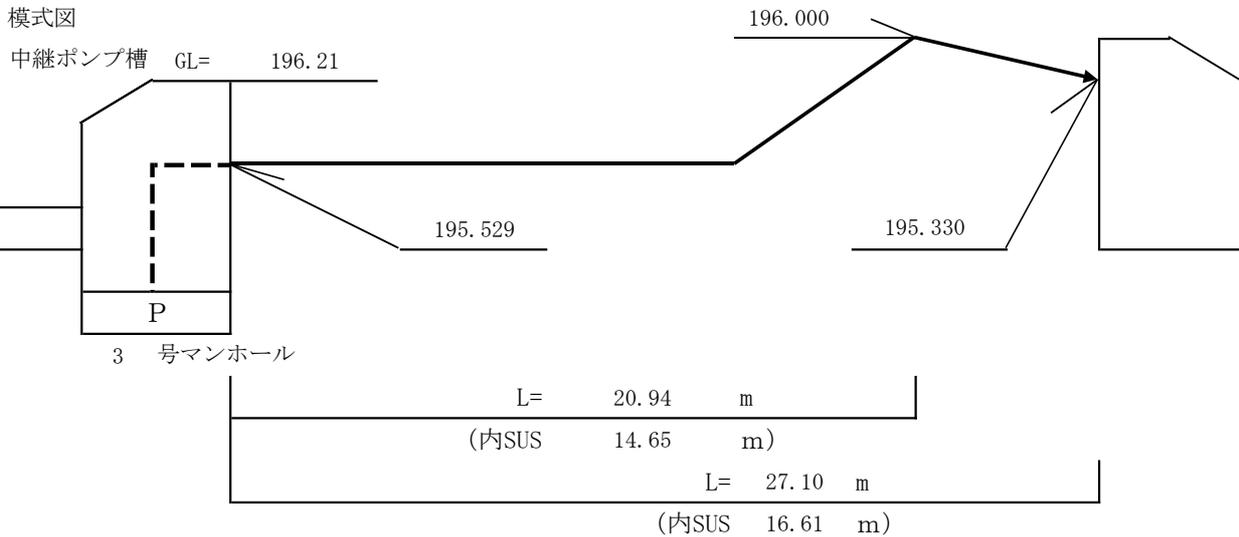
3. 主要部材質

- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------------|
| 1) ケーシング : | FC 200 以上 | 3) 主軸 : | SUS 420J2 相当 |
| 2) 羽根車 : | SCS 13 | | |

4. 付属品

- | | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------|---------------|-----|
| 1) 着脱装置 : | SCS 13 相当 | 4) 吊上用チェーン : | SUS 304 | 7) その他必要なもの : | 1 式 |
| 2) ガイドパイプ : | SUS 304 TP20S | 5) 水中ケーブル | | | |
| 3) ガイドホルダー : | SUS 304 | 6) オートカット | | | |

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

圧送管諸元

- | | | | |
|--------------|---------|-----------|------------------|
| AWL (警報水位) = | 193.300 | 1) 管種 : | 硬質塩化ビニル管、ステンレス鋼管 |
| HWL (起動水位) = | 192.900 | 2) 管径 : | VP φ 75、SUS 80 A |
| LWL (停止水位) = | 192.300 | 3) 最低流速 : | 0.6 m/s |
| ポンプ槽底 = | 191.550 | | |

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P3 (MP3)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

2. 規格 (参考)

- | | | | |
|-------------|---|---------|---------|
| 1) 処理対象人口 : | 783 人 | 1) 口径 : | φ 65 |
| 2) 型式 : | 水中ノックログ式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は100%以上とする。 | 2) 出力 : | 0.75 kw |
| 3) 吐出量 : | 0.43 m ³ /min (圧送管φ75における流速0.60m/sの流量) | | |
| 4) 実揚程 : | 5.2 m | | |
| 5) 電動機 : | 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式 | | |
| 6) 運転方式 : | 単独交互運転 | | |
| 7) 電極 : | 4 極 | | |

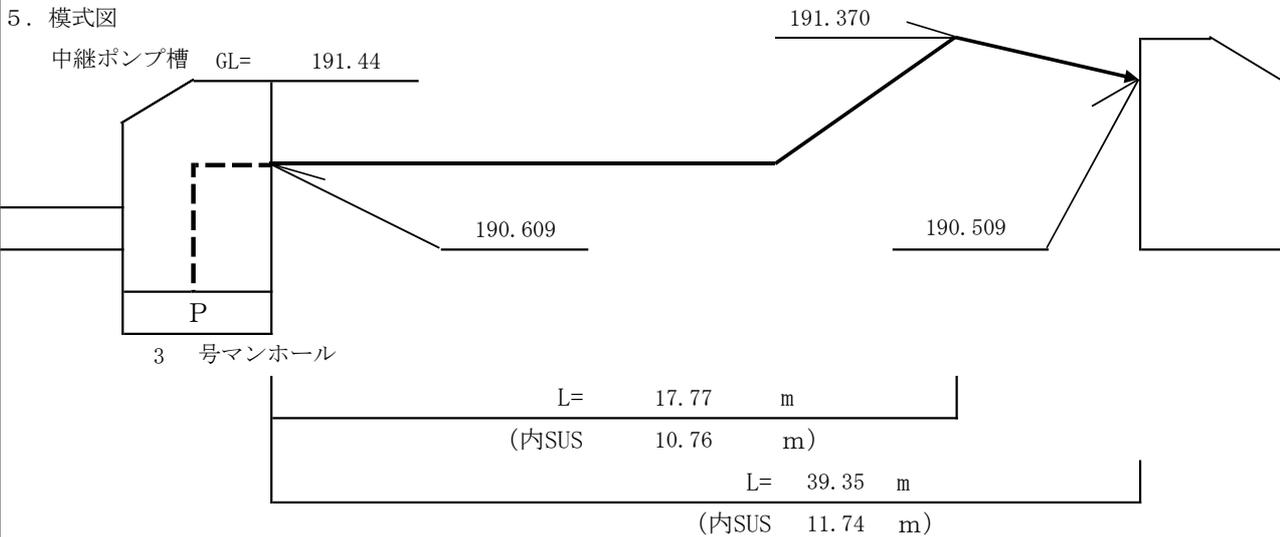
3. 主要部材質

- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------------|
| 1) ケーシング : | FC 200 以上 | 3) 主軸 : | SUS 420J2 相当 |
| 2) 羽根車 : | SCS 13 | | |

4. 付属品

- | | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------|---------------|-----|
| 1) 着脱装置 : | SCS 13 相当 | 4) 吊上用チェーン : | SUS 304 | 7) その他必要なもの : | 1 式 |
| 2) ガイドパイプ : | SUS 304 TP20S | 5) 水中ケーブル | | | |
| 3) ガイドホルダー : | SUS 304 | 6) オートカット | | | |

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

圧送管諸元

- | | | | |
|--------------|---------|-----------|------------------|
| AWL (警報水位) = | 189.138 | 1) 管種 : | 硬質塩化ビニル管、ステンレス鋼管 |
| HWL (起動水位) = | 188.738 | 2) 管径 : | VP φ 75、SUS 80 A |
| LWL (停止水位) = | 187.988 | 3) 最低流速 : | 0.6 m/s |
| ポンプ槽底 = | 187.238 | | |

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P4 (MP4)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

2. 規格 (参考)

- | | | | |
|-------------|---|---------|--------|
| 1) 処理対象人口 : | 9 人 | 1) 口径 : | φ 50 |
| 2) 型式 : | 水中渦流式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は70%以上とする。 | 2) 出力 : | 0.4 kw |
| 3) 吐出量 : | 0.08 m ³ /min (圧送管 φ 50 における流速 0.60 m/s の流量) | | |
| 4) 実揚程 : | 4.8 m | | |
| 5) 電動機 : | 三相 200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式 | | |
| 6) 運転方式 : | 単独交互運転 | | |
| 7) 電極 : | 4 極 | | |

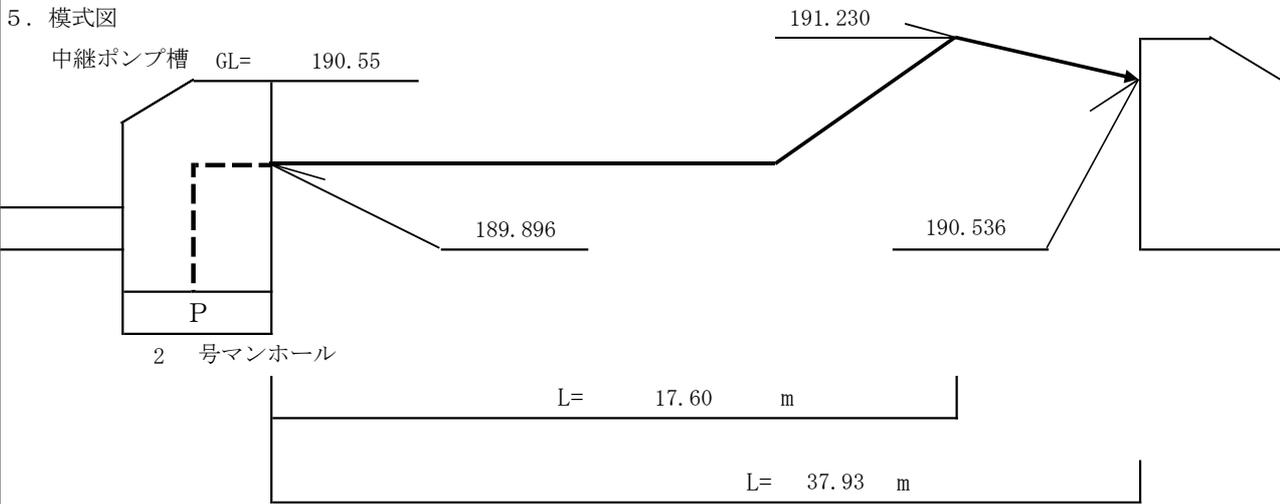
3. 主要部材質

- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------------|
| 1) ケーシング : | FC 200 以上 | 3) 主軸 : | SUS 420J2 相当 |
| 2) 羽根車 : | SCS 13 | | |

4. 付属品

- | | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------|---------------|-----|
| 1) 着脱装置 : | SCS 13 相当 | 4) 吊上用チェーン : | SUS 304 | 7) その他必要なもの : | 1 式 |
| 2) ガイドパイプ : | SUS 304 TP20S | 5) 水中ケーブル : | | | |
| 3) ガイドホルダー : | SUS 304 | 6) オートカット : | | | |

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- | | | |
|------------|---|---------|
| AWL (警報水位) | = | 188.174 |
| HWL (起動水位) | = | 187.774 |
| LWL (停止水位) | = | 187.524 |
| ポンプ槽底 | = | 186.824 |

圧送管諸元

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 管種 : | 硬質塩化ビニル管 |
| 2) 管径 : | VP φ 50 |
| 3) 最低流速 : | 0.6 m/s |

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P5 (MP5)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

- 1) 処理対象人口 : 819 人
- 2) 型式 : 水中ノックログ式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は100%以上とする。
- 3) 吐出量 : 0.45 m³/min (圧送管φ75における流速0.60m/sの流量)
- 4) 実揚程 : 4.8 m
- 5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式
- 6) 運転方式 : 単独交互運転
- 7) 電極 : 4 極

2. 規格 (参考)

- 1) 口径 : φ 65
- 2) 出力 : 0.75 kw

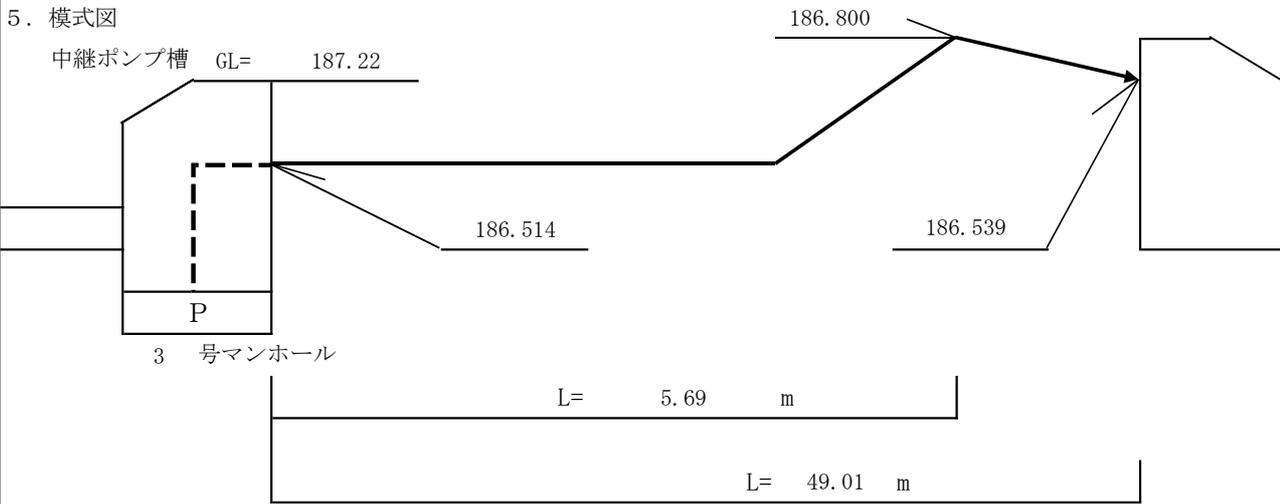
3. 主要部材質

- 1) ケーシング : FC 200 以上
- 2) 羽根車 : SCS 13
- 3) 主軸 : SUS 420J2 相当

4. 付属品

- 1) 着脱装置 : SCS 13 相当
- 2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S
- 3) ガイドホルダー : SUS 304
- 4) 吊上用チェーン : SUS 304
- 5) 水中ケーブル
- 6) オートカット
- 7) その他必要なもの : 1 式

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- AWL (警報水位) = 185.699
- HWL (起動水位) = 185.299
- LWL (停止水位) = 184.499
- ポンプ槽底 = 183.749

圧送管諸元

- 1) 管種 : 硬質塩化ビニル管
- 2) 管径 : VP φ 75
- 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P6 (MP6)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

2. 規格 (参考)

- | | | | |
|-------------|--|---------|--------|
| 1) 処理対象人口 : | 1200 人 | 1) 口径 : | φ 80 |
| 2) 型式 : | 水中ノックログ式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は100%以上とする。 | 2) 出力 : | 3.7 kw |
| 3) 吐出量 : | 0.65 m ³ /min (圧送管 φ 100 における流速 0.60 m/S の流量) | | |
| 4) 実揚程 : | 10.8 m | | |
| 5) 電動機 : | 三相 200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式 | | |
| 6) 運転方式 : | 単独交互運転 | | |
| 7) 電極 : | 4 極 | | |

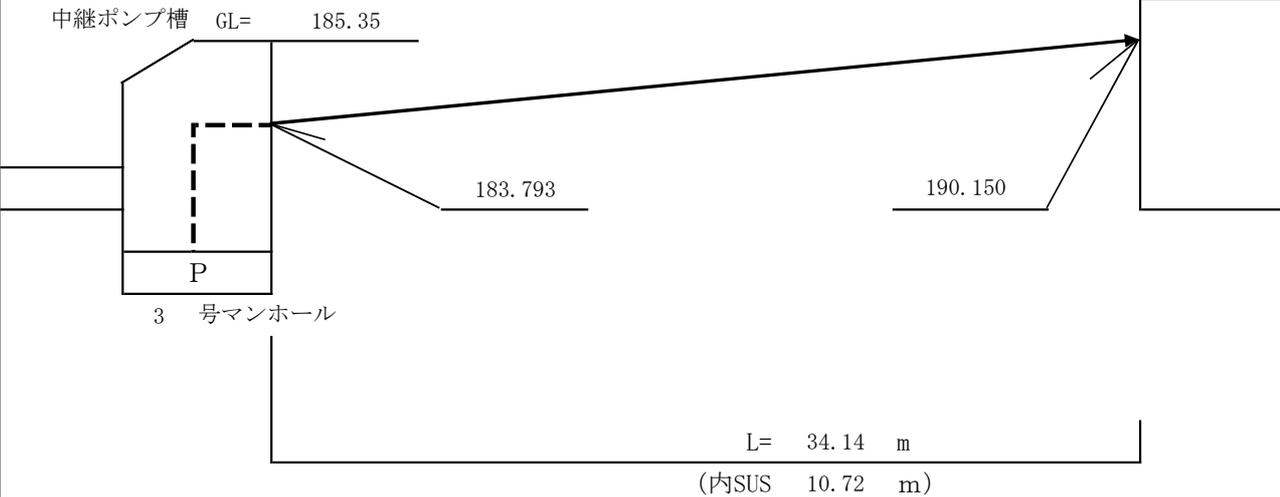
3. 主要部材質

- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------------|
| 1) ケーシング : | FC 200 以上 | 3) 主軸 : | SUS 420J2 相当 |
| 2) 羽根車 : | SCS 13 | | |

4. 付属品

- | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------|-------------------|
| 1) 着脱装置 : | SCS 13 相当 | 4) 吊上用チェーン : | SUS 304 | 7) 浸水検知器 |
| 2) ガイドパイプ : | SUS 304 TP20S | 5) 水中ケーブル | | 8) その他必要なもの : 1 式 |
| 3) ガイドホルダー : | SUS 304 | 6) オートカット | | |

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- | | | |
|------------|---|---------|
| AWL (警報水位) | = | 182.135 |
| HWL (起動水位) | = | 181.735 |
| LWL (停止水位) | = | 180.585 |
| ポンプ槽底 | = | 179.685 |

圧送管諸元

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1) 管種 : | 硬質塩化ビニル管、ステンレス鋼管 |
| 2) 管径 : | VP φ 100、SUS 100 A |
| 3) 最低流速 : | 0.6 m/s |

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P7 (MP7)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

1) 処理対象人口 : 14 人

2) 型式 : 水中渦流式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付)

3) 吐出量 : 0.16 m³/min (圧送管φ75における流速0.60m/sの流量)

4) 実揚程 : 12.1 m

5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式

6) 運転方式 : 単独交互運転

7) 電 極 : 4 極

2. 規格 (参考)

1) 口 径 : φ 65

2) 出 力 : 3.7 kw

※通過粒径は70%以上とする。

※水撃作用の検討をし負圧が-7mを超える場合はワイルド付とする事

3. 主要部材質

1) ケーシング : FC 200 以上

3) 主軸 : SUS 420J2 相当

2) 羽 根 車 : SCS 13

4. 付属品

1) 着脱装置 : SCS 13 相当

4) 吊上用チェーン : SUS 304

7) 浸水検知器

2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S

5) 水中ケーブル

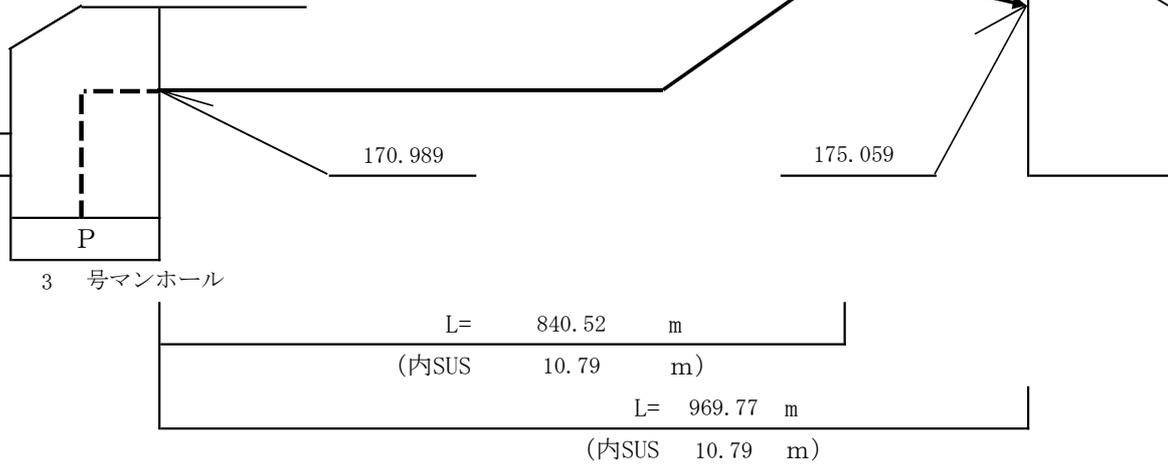
8) その他必要なもの : 1 式

3) ガイドホルダー : SUS 304

6) オートカット

5. 模式図

中継ポンプ槽 GL= 171.67



ポンプ槽水位設定

AWL (警報水位) = 170.769
 HWL (起動水位) = 170.369
 LWL (停止水位) = 169.869
 ポンプ槽底 = 169.119

圧送管諸元

1) 管 種 : 硬質塩化ビニル管、ステンレス鋼管
 2) 管 径 : VP φ 75、SUS 80 A
 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P8 (MP8)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

- 1) 処理対象人口 : 85 人
- 2) 型式 : 水中ノックラック式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付)
- 3) 吐出量 : 0.31 m³/min (圧送管φ100における流速0.60m/Sの流量)
- 4) 実揚程 : 21.4 m
- 5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式
- 6) 運転方式 : 単独交互運転
- 7) 電極 : 4 極

2. 規格 (参考)

- 1) 口径 : φ 80
- 2) 出力 : 5.5 kw
- ※通過粒径は100%以上とする。
- ※水撃作用の検討をし負圧が-7mを超える場合はワイルド付とする事
- ※上流ポンプ MP7 (85人の内14人分) 考慮すること

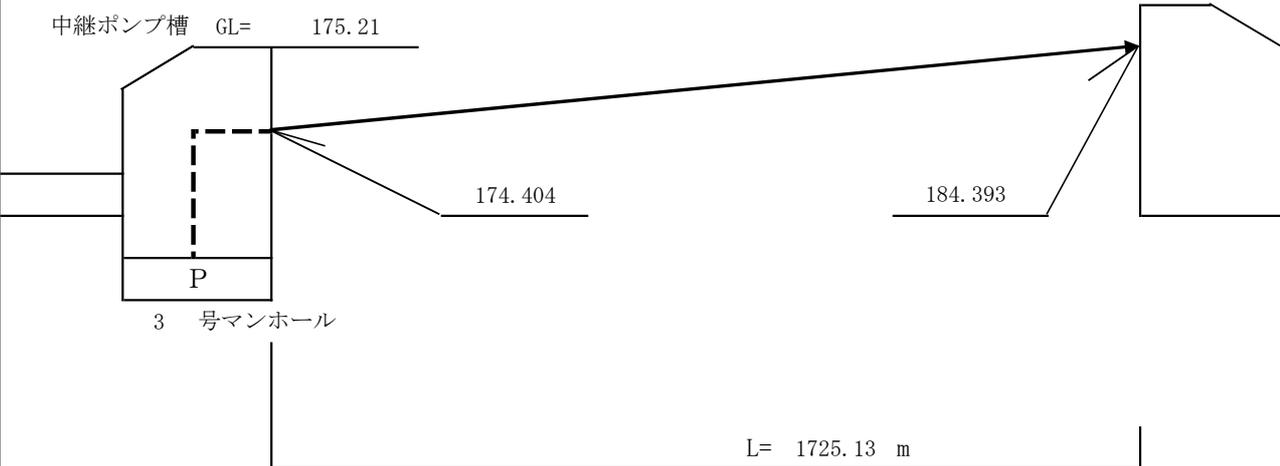
3. 主要部材質

- 1) ケーシング : FC 200 以上
- 2) 羽根車 : SCS 13
- 3) 主軸 : SUS 420J2 相当

4. 付属品

- 1) 着脱装置 : SCS 13 相当
- 2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S
- 3) ガイドホルダー : SUS 304
- 4) 吊上用チェーン : SUS 304
- 5) 水中ケーブル
- 6) オートカット
- 7) 浸水検知器
- 8) その他必要なもの : 1 式

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- AWL (警報水位) = 173.600
- HWL (起動水位) = 173.200
- LWL (停止水位) = 172.550
- ポンプ槽底 = 171.650

圧送管諸元

- 1) 管種 : 硬質塩化ビニル管
- 2) 管径 : VP φ 100
- 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P9 (MP9)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

- 1) 処理対象人口 : 21 人
- 2) 型式 : 水中渦流式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は70%以上とする。
- 3) 吐出量 : 0.16 m³/min (圧送管φ75における流速0.60m/sの流量)
- 4) 実揚程 : 3.6 m
- 5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式
- 6) 運転方式 : 単独交互運転
- 7) 電極 : 4 極

2. 規格 (参考)

- 1) 口径 : φ 50
- 2) 出力 : 0.4 kw

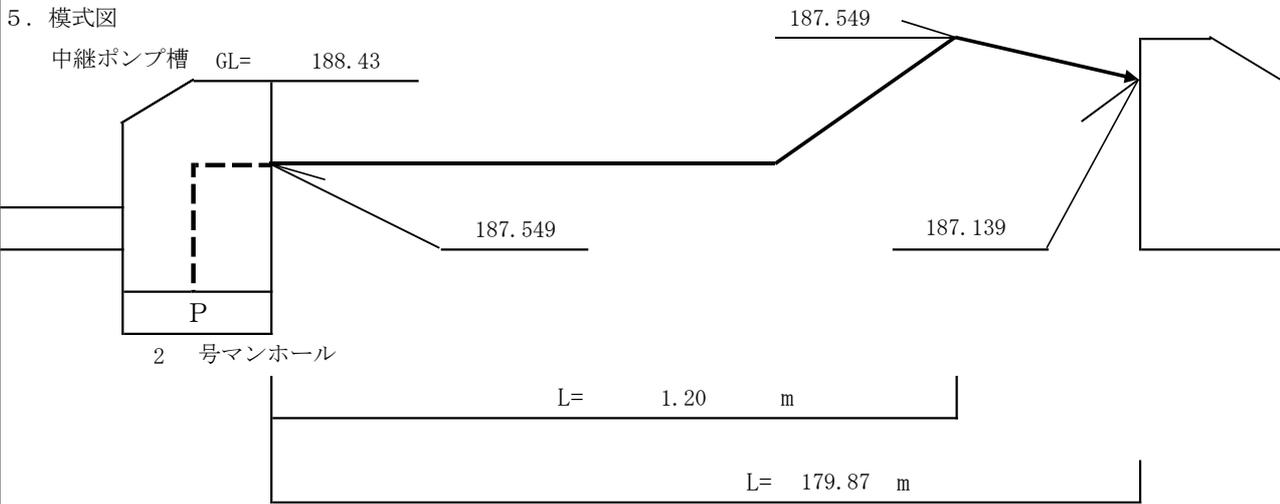
3. 主要部材質

- 1) ケーシング : FC 200 以上
- 2) 羽根車 : SCS 13
- 3) 主軸 : SUS 420J2 相当

4. 付属品

- 1) 着脱装置 : SCS 13 相当
- 2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S
- 3) ガイドホルダー : SUS 304
- 4) 吊上用チェーン : SUS 304
- 5) 水中ケーブル
- 6) オートカット
- 7) その他必要なもの : 1 式

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- AWL (警報水位) = 186.163
- HWL (起動水位) = 185.763
- LWL (停止水位) = 185.463
- ポンプ槽底 = 184.763

圧送管諸元

- 1) 管種 : 硬質塩化ビニル管
- 2) 管径 : VP φ 75
- 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

施設名 P10 (MP10)

水中汚水・汚物ポンプ

1. 仕様

- 1) 処理対象人口 : 238 人
- 2) 型式 : 水中渦流式汚水汚物ポンプ (着脱式)
(スカム対策ノズル付) ※通過粒径は70%以上とする。
- 3) 吐出量 : 0.21 m³/min (圧送管φ50における流速0.60m/sの流量)
- 4) 実揚程 : 4.6 m
- 5) 電動機 : 三相200V 乾式水中形誘導式 直入起動方式
- 6) 運転方式 : 単独交互運転
- 7) 電極 : 4 極

2. 規格 (参考)

- 1) 口径 : φ 50
- 2) 出力 : 0.75 kw

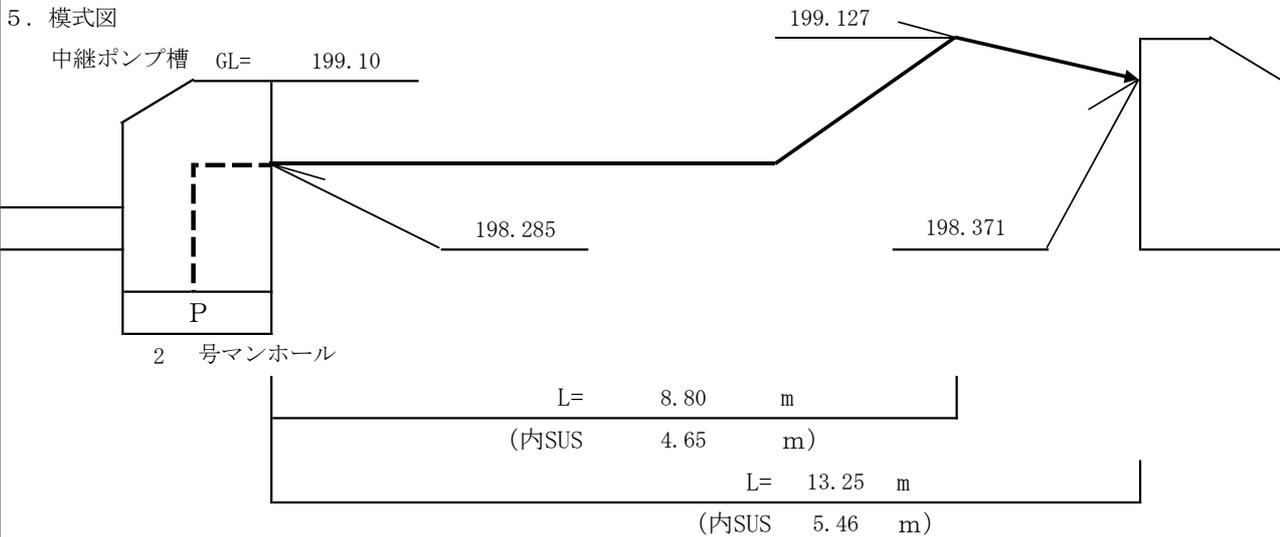
3. 主要部材質

- 1) ケーシング : FC 200 以上
- 2) 羽根車 : SCS 13
- 3) 主軸 : SUS 420J2 相当

4. 付属品

- 1) 着脱装置 : SCS 13 相当
- 2) ガイドパイプ : SUS 304 TP20S
- 3) ガイドホルダー : SUS 304
- 4) 吊上用チェーン : SUS 304
- 5) 水中ケーブル
- 6) オートカット
- 7) その他必要なもの : 1 式

5. 模式図



ポンプ槽水位設定

- AWL (警報水位) = 196.879
- HWL (起動水位) = 196.479
- LWL (停止水位) = 195.879
- ポンプ槽底 = 195.179

圧送管諸元

- 1) 管種 : 硬質塩化ビニル管、ステンレス鋼管
- 2) 管径 : VP φ 50、SUS 50 A
- 3) 最低流速 : 0.6 m/s

ポンプ施設機器 特記仕様

流 入 バ ッ フ ル

1. 仕様

1)型 式 : 流入バッフル
(流入管径φ150、φ200)

2. 主要部材質

1)本 体 : SUS304製 t=1.0mm

3. 付属品

1)取 付 金 具 : SUS304 1式
2)その他必要なもの : 1式

4. 参考寸法図

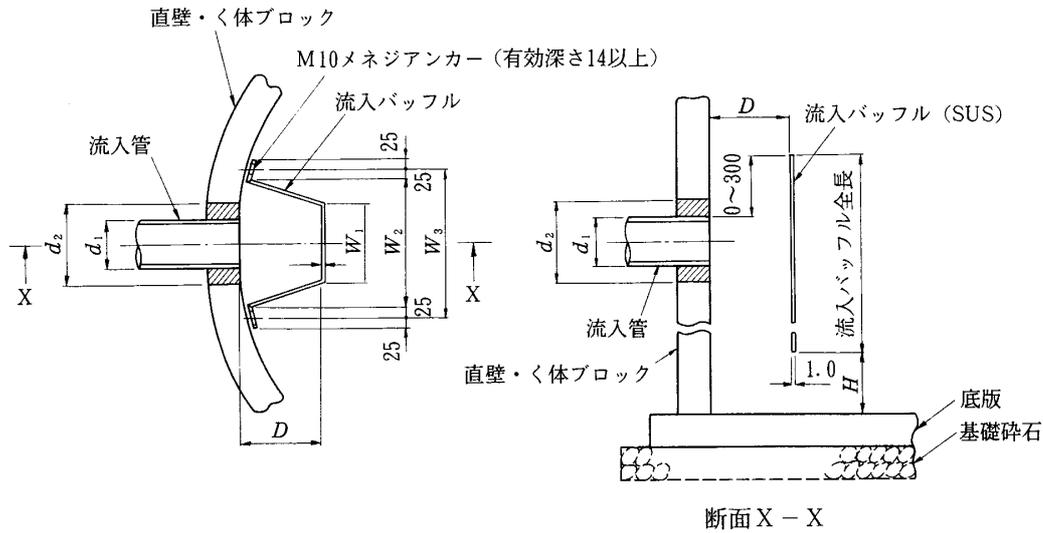


図3-26 流入バッフル寸法図

流入管径 d1 (mm)	削孔径 d2 (mm)	流入バッフル外径寸法・取付寸法			
		D (mm)	W1 (mm)	W2 (mm)	W3 (mm)
150	210	100	200	250	300
200	314	100	200	250	300

マンホール種類	1・2号マンホール	3号マンホール
H (mm)	600	900

ポンプ施設機器 特記仕様

中継ポンプ制御盤

1. 仕様

- 1) 型式 : 屋外装柱型
- 2) 受電 : 200V スペースヒータ有 出力 0.4、0.75、3.7、5.5Kw
- 3) 通報装置 : 自動通報装置収納可能
- 4) 運転方式 : 水位による自動運転、飛越機能付、停止 (LWLで停止タイマー作動及び電流リレー作動)
- 5) 運転方法 : 単独自動交互運転

2. 主要部材質

- 1) 本体 : SUS 304 t = 2mm程度
- 2) ハンドル (鍵付) : ハンドル SUS 304
- 3) 塗装 : マンセル指定記号

3. 盤取付機器

- 1) 遮断器
- 2) 補助リレー
- 3) 端子台
- 4) タイマー
- 5) 電圧計、電流計、運転時間計
- 6) 表示灯 (LED)、操作スイッチ
- 7) その他必要なもの

4. 付属品

- 1) ランプ、ヒューズ等予備品 : 一式
- 2) 取付金具 : SUS 304 一式

5. 特記仕様

中継ポンプを2台を1面で制御し、出力表示は中継ポンプ1台当りの出力を示す。

ポンプ施設機器 特記仕様

引 込 計 器 盤

1. 仕様

- 1) 型 式 : ステンレス製屋外電柱取付型 (防雨型)
- 2) 引 込 : 3 ϕ 3W 200V 60HZ
- 3) そ の 他 : 単線結線図参照 (別紙図面)

2. 主要部材質

- 1) 本 体 : SUS 304 t = 2mm程度
- 2) 塗 装 : マンセル指定記号
- 3) ハンドル (鍵付) : ハンドル SUS 304

3. 盤取付機器

- 1) 中電電力計等取スペース
- 2) 遮断器
- 3) その他必要なもの

4. 付属品

- 1) 取 付 金 具 : SUS 304
- 2) その他必要なもの : 1式

5. 特記事項

中電電力計等取付スペースには封印を行うこと

- ・協会型標準仕様 (案) : IV-1-2

ポンプ施設機器 特記仕様

中継ポンプ用 水位計

1. 仕様

- 1) 型式 : 投込圧力式水位計
- 2) 測定範囲 : 0 ~ 5 m
- 3) 接点水位 : 6点
- 4) その他 : 専用ケーブル 20m付

2. 主要部材質

メーカー標準仕様

3. 付属品

- 1) 指示変換器 (デジタル表示) : 一式
- 2) 専用ケーブル : 一式
- 3) 検出器及び取付台 : 一式
- 4) 引上用チェーン (SUS 304) : 一式
- 5) 取付金具 : 一式
- 6) バックアップ用フロートスイッチ : 一式
- 7) その他必要なもの : 一式 (標準仕様 (案) に記載されているもの)

・協会型標準仕様 (案) : IV-3-1-1

ポンプ施設機器 特記仕様

非常通報装置

1. 仕様

- 1) 入力 : 接点信号 13点以上、アナログ信号 2量点以上
- 2) 寸法 : メーカー標準 (中継ポンプ盤内設置)
- 3) 構造 : 故障の原因となるハードディスク等の駆動部分を排除し、耐久性のある構造とすること。
又、I/OユニットにPLCを使用し、PLCソフトにより信号取得をカスタマイズできること。
- 4) 温湿度条件 : 周囲温度0℃～50℃、(結露なきこと)。湿度20～90%以下で正常に動作すること。(結露なきこと)
- 5) 停電処理 : 通信ユニットに充電式のバッテリーを内蔵し、停電通知を行えること。
- 6) 表示内容 : 運転時間、警報履歴、日報、月報、年報、現在値、トレンドデータ、通報履歴。
- 7) 通信 : 電話回線、携帯回線。
- 8) 通信機能 : 音声通報(電話回線)、メール通報、データ通報(携帯回線)。
- 9) 通報先 : 非常用通報装置より、音声通報にて5箇所以上、メール通報にて10箇所以上の通報先へ通報が可能なこと。また、東日本と西日本に分かれた2拠点以上のクラウドサーバにデータ通信が可能なこと。
- 10) 電源 : AC 100V, 200V, 50/60HZ

2. 主要部材質

メーカー標準仕様

3. 付属品

- 1) メーカー標準 : 一式

携帯通信装置

- 2) 通信サービス : クラウドサーバ接続用通信サービス及びM2M通信サービス
- 3) 通信回線 : KDDI LTE(4G)
- 4) その他必要なもの : 一式 (標準仕様(案)に記載されているもの)
サーバー及び通報装置のソフト費含む
(信号設定、設備フロー構築、管理報構築、その他必要な設定費)

4. 特記仕様

『伊賀市通報装置仕様書』参照

伊賀市通報装置仕様書

第1条 監視機器

1. 監視装置（クラウドサーバ）

（1）システムの概要

システムの各種機能はクラウド方式で、インターネット経由で情報監視用機器にデータ配信するものとし、ID及びパスワードによりログイン管理を行うものとする。

（1）データセンタ仕様

（ア）数量 1式

（イ）データセンタ仕様

（a）データセンタ

下記の仕様を満たすものとする。

免震/耐震構造：震度6強以上

SLA：99.99%

（b）拠点数

（i）クラウドサーバは東日本と西日本に分かれた2拠点以上のデータセンタに設置し、冗長化を行うこと。

（ii）データセンタ間で監視データ及び、ユーザーによる設定情報の同期を行うこと。

（c）通信方式

（i）子局との通信回線は、KDDI LTE(4G)による携帯回線を使用すること。

（ii）クラウドサーバが子局へ接続するネットワークは専用ネットワークとすること。

（iii）クラウドサーバはインターネットに公開され、ブラウザソフトで監視画面を表示可能なこと。ブラウザの通信はSSLによる暗号化を行いhttpsによる接続とすること。

（2）クラウドサーバソフト仕様

（ア）ソフト構成

（a）表示機能	1式
（b）設備画面	1式
（c）トレンド画面	1式
（d）バーグラフ画面	1式
（e）日報画面	1式
（f）月報画面	1式
（g）年報画面	1式
（h）警報画面	1式
（i）運転履歴画面	1式
（j）警報通報機能	1式
（k）子局通信機能	1式
（l）データ保存期間	1式
（m）監視点数	1式

（イ）ソフト機能

（a）表示機能

WEBサーバの機能を有し、ブラウザソフトに監視画面を表示すること。画面を表示する際にはユーザーIDとパスワードによるログイン認証を行うこと。

（b）設備画面

設備フロー図を簡易的なグラフィック表示する。また、設備機器の運転対応・停止・故障の状態をシンボル表示および水位・流量等の計測値の瞬時値を表示する。

- (c) **トレンド画面**
1 分間隔でサンプリングした水位・流量等の計測値を折れ線グラフ状に表示する。また、表示形式としては、1 日間、1 週間、1 ヶ月、1 ヶ年の表示スパンで表示する。尚、データは、当月を含めデータセンタに格納し、随時呼び出し表示可能とする。
また、過去のデータと現状データとの比較機能及びグラフの表示時間の警報履歴の表示することが可能なこと。
- (d) **バーグラフ画面**
水位・流量等の計測値の瞬時値を棒グラフ状に表示する。
また警報設定が可能なこと。(H、L 各 1 点)
異常時には表示色を変え棒グラフ表示を行うこと。
- (e) **日報画面**
水位・流量等の計測値の毎正時の瞬時値または正時までの 1 時間の積算値を表示可能とする。
データは、当日を含め過去 3 年分をデータセンタに格納し、随時呼び出し表示可能とする。
また、Excel 形式にて出力可能なこと。
日報のデータの並び順をユーザーにて変更可能なこと。
- (f) **月報画面**
1 日毎の流量等の計測値の積算値を表示可能とする。データは当月を含め過去 3 年分をデータセンタに格納し、随時呼び出し表示可能とする。
また、Excel 形式にて出力可能なこと。
月報のデータの並び順をユーザーにて変更可能なこと。
- (g) **年報画面**
1 ヶ月毎の流量等の計測値の積算値を表示可能とする。データは、当年を含め過去 3 年分をデータセンタに格納し、随時呼び出し表示可能とする。
また、Excel 形式にて出力可能なこと。
年報のデータの並び順をユーザーにて変更可能なこと。
- (h) **警報画面**
子局伝送装置で作成した履歴データを取得し、警報の発生および復旧状況を日時とともに表示する。現在、発生中の警報を抽出して表示が可能なこと。また、機場名、機器名等による検索のほか日時での検索機能を有すること。
故障、異常内容により任意に重故障、軽故障の設定が行えること。
また、CSV 形式にて出力可能なこと。
子局伝送装置との通信異常中に発生した警報を、通信復旧後に取得して記録が可能なこと。
- (i) **運転履歴画面**
子局伝送装置で作成した履歴データを取得し、各機器の運転および停止状況を日時とともに表示する。機場名、機器名等による検索のほか日時での検索機能を有すること。
また、CSV 形式にて出力可能なこと。
- (j) **警報通報機能**
警報が発生した場合、任意に設定した通報先に E メールにて警報を通報可能なこと。
通報先は複数を設定可能とし、任意に変更可能とする。また、E メールに記載する警報名称を任意に変更可能とする。通報する時間帯、平日・休日により通報先を自動で切り替えることが可能なこと。
子局伝送装置との通信異常中に発生した警報を、通信復旧後に再度検知して通報が可能なこと。
- (k) **子局通信機能**
子局伝送装置と定期的に通信し、現在値及び子局装置で作成した管理報、トレンドグラフ、運転履歴、警報履歴の取得を行うこと。
過去 10 日分の日報、トレンドデータ及び 300 件以上の履歴データの再取得が可能なこと。
警報発生時は、子局伝送装置からの警報通報を受けて、クラウドサーバが伝送装置内の警報履歴の取得を行い、警報処理を行うこと。
また、子局伝送装置の内部時計をクラウドサーバの時刻と同期する機能を有すること。

- (1) データ保存期間
 - ・管理報（日報、月報、年報） 各3年以上
 - ・トレンドグラフ（1分間隔） 1年以上
 - ・警報履歴 5000件以上
 - ・運転履歴 5000件以上
- (m) 監視点数
 - ・子局数 30 機場 / 1 ユーザー
 - ・信号数(1 機場あたり最大) アナログ 16 量、デジタル 48 点
- (ウ) クラウドサーバ使用料
 クラウドサーバの月額使用料(税抜き価格)は以下の通りとする。クラウドサーバの通信費はサーバ使用料に含むものとする。
 - ・処理場：1 機場あたり 4,500 円以下
 - ・マンホールポンプ機場：1 機場あたり 1,500 円以下

第2条 子局伝送装置

- (1) 数 量 1 式
- (2) 概 要 設置された機場のデータを収集し、データセンタに伝送する。
- (3) 伝送装置構成
 - ・携帯通信装置 1 式
 - ・通信ユニット 1 式
 - ・I/O ユニット 1 式
- (4) 通信仕様
 - ・通信回線 KDDI LTE(4G)
 - ・通信プロトコル TCP/IP
 - ・回線速度 128kbps 以上(ベストエフォード)
- (5) 携帯通信装置仕様
 - (ア) 外部インターフェイス
 - ・通信アンテナ：SMA-J×2
 - ・通信ユニット：RJ-45(100BASE-TX/10BASE-T(Auto MDI/MDI-X 対応)×1
 - (イ) 通信サービス
 - ・クラウドサーバ接続用通信サービス及び M2M 通信サービスに対応し、通信設定及び SIM の変更により機器変更伴わず通信サービスを切り替えることが可能なこと。
 - (ウ) 信頼性機能
 - ・安定した動作を維持するため、1 日 1 回、自動で再起動を行うこと。
 - (エ) 通信費
 - M2M 通信網の月額使用料(税抜き価格)は以下の通りとする。
 - ・専用網使用料：7,700 円以下 (254 機場まで可)
 - ・通信費 : 1 機場あたり 803 円以下
- (6) 通信ユニット仕様
 - (ア) データ収集機能
 - ・アナログ信号、デジタル信号を取得し、日報、トレンドグラフ、機器の運転及び警報の履歴 を記録し、クラウドサーバへ伝送する機能を有する
 - (イ) 信号数 (最大)
 - ・処理場 : アナログ 8 量、デジタル 32 点
 - ・マンホールポンプ機場：アナログ 2 量、デジタル 13 点
 - (ウ) 保存データ
 - (i) 管理報：日報：10 日以上
 - (ii) トrendデータ(1分周期) : 10 日以上
 - (iii) 運転履歴、警報履歴：各 300 件以上
 - (エ) 通報機能
 - 故障警報等の信号が本装置に入力された場合、データセンタへ通報を行う。

- (オ) 停電処理
 - (i) 停電処理：通信ユニットに充電式のバッテリーを内蔵し、自身と携帯通信装置の電源バックアップを行い停電の発生をデータセンタへ通知すること。
 - (ii) 内蔵電池：ニッケル水素電池(停電通報用)、リチウム電池(メモリ保護用)UPS を別途設置不要なこと。

(カ) WEB 監視画面

WEB サーバの機能を有し、M2M 通信サービス経由で接続したパソコン、スマートフォン、タブレットのブラウザソフトを用いて、通信ユニットが収集した保存データを閲覧可能なこと。

本機能を使用する際には、携帯通信装置は M2M 通信サービスに接続しているものとする。

- (キ) 電源 AC200/100V(50Hz、60Hz)

(7) I/O ユニット

(ア) 信号入力

(i) 信号入力

- ・アナログ：電流入力 DC4～20mA または電圧入力 DC1～5V
- ・デジタル：無電圧 A 接点

(ii) 信号数 (最大)

- ・処理場 : アナログ 8 量、デジタル 32 点
- ・マンホールポンプ機場：アナログ 2 量、デジタル 13 点

- (イ) 電源 AC200/100V(50Hz、60Hz)

(8) 温湿度条件

(ア) 周囲温度 0℃～50℃、(結露なきこと)

(イ) 湿度 20～90%で正常に動作すること。(結露なきこと)

第 3 条 中央設備用携帯通信装置(分散型監視を行う場合)

(1) 通信仕様

- ・通信回線 KDDI LTE(4G)
- ・通信プロトコル TCP/IP
- ・回線速度 128kbps 以上(ベストエフォード)

(2) 外部インターフェイス

- ・イーサネット：RJ-45(100BASE-TX/10BASE-T(Auto MDI/MDI-X 対応)×1
- ・無線 LAN に対応のこと。

(3) 通信機能

- ・M2M 通信サービスへの接続機能を有すること。
- ・イーサネットまたは無線 LAN にてパソコン、スマートフォン、タブレットが携帯通信装置に接続可能なこと。
また、本装置に接続したパソコン、スマートフォン、タブレットは、M2M 通信サービス経由で子局伝送装置へ接続可能となること。

第 4 条 メーカー選定 (下記条件を全て満たすこと)

- (1) 通信回線のサービス提供者とクラウドセンタのメーカーは、同一グループ企業であること。
- (2) 伊賀市もしくは隣接市町を拠点とし緊急時に「2 時間以内に駆けつけられる範囲に事務所を構えるもの。
- (3) サーバー及び通報装置のソフト費(信号設定、設備フロー構築、管理報構築、その他必要な設定費)は子局伝送装置の機器費に含んでいるものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	<input checked="" type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり <input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 調整項目（ <input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input checked="" type="checkbox"/> その他（処理場内工事） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） <input type="checkbox"/> 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 占用物件名（ <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> その他（ ）
用地関係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり <input type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 未処理箇所（ <input type="checkbox"/> 別添図 <input type="checkbox"/> No. ～No. <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） <input type="checkbox"/> 完了見込み時期（ <input type="checkbox"/> 平成 年 月頃 <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤード（ <input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間（ ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
公害対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり <input type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目（ <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 水質 <input checked="" type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 施工方法等（ <input type="checkbox"/> 指定工法名（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 施工時期（ ） <input type="checkbox"/> 調査項目（ <input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事前・事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 調査方法（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 調査費（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> その他（ ）
安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり <input type="checkbox"/> 近接公共施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり <input type="checkbox"/> イメージアップ経費適用工事 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 交通管理要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 指定路線 <input type="checkbox"/> 指定路線以外 <input type="checkbox"/> 配置人員数（2人）（うち交通誘導警備員A（ ）人） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、指定路線以外で交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） <input type="checkbox"/> 施工時間の制限 <input type="checkbox"/> 工法制限あり <input type="checkbox"/> ・近接公共施設名等（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> ・制限を受ける工種（ ） <input type="checkbox"/> ・制限内容（ ） <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> イメージアップの内容（率分）（ ） <input type="checkbox"/> イメージアップの内容（積上）（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり <input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 転用あり（ 回） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
残土・産業廃棄物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 残土処分（自由処分） <input type="checkbox"/> 残土処分（指定処分・他工事流用） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり <input checked="" type="checkbox"/> 提出書類あり <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 残土処分地（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） 運搬距離（L=4km） <input type="checkbox"/> 処分地の処理条件あり（ <input type="checkbox"/> 押土整地 <input type="checkbox"/> その他（処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離8km）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分地での処理費（ <input type="checkbox"/> 計上あり（ <input type="checkbox"/> 処理料 <input type="checkbox"/> 押土整地 <input type="checkbox"/> 被覆土） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（委託契約書の写し、マニフェストの写しA表及びD表またはE表の写しを提出）
工事支障物件関係	<input type="checkbox"/> 工事支障物件あり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 平成 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 防護（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
排水工（濁水処理を含む）関係	<input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の排水に際し、制限あり <input type="checkbox"/> 水質調査等必要あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 項目及び基準値（ ） <input type="checkbox"/> 調査項目（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり <input type="checkbox"/> 提出書類あり <input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） <input type="checkbox"/> 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 工法関係（ ） 材料関係（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり <input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input checked="" type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 ） <input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。（認定製品の品名： ） 【注：認定製品の品名欄については、設計単価表の品名を記入すること】 <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。（認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他	<input type="checkbox"/> 工所用機材の保管及び仮置きが必要あり <input type="checkbox"/> 現場発生品あり <input type="checkbox"/> 支給品あり <input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） <input type="checkbox"/> 時期（平成 年 月 日） その他（ ） <input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 数量（ ） 運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> その他（ ）
適用条件		<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月版）を適用（部分改正を行った内容も含む（最新改正：平成 年 月 日）） <input checked="" type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 <input type="checkbox"/> 契約後のVE提案に関する特記仕様書 平成 年 月 日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」試行対象工事に係る特記仕様書 平成 年 月 日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「工事監理連絡会」実施対象工事に係る特記仕様書 平成 年 月 日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているため、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から工事請負者に対する指示又は通知等の支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により工事請負者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者： <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際に変更対象となるかどうかについて受注者・発注者の共通の目安を示す三重県設計変更ガイドライン（案）（平成27年4月1日）を参考とする。（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 三重県を伊賀市と読み替える。 ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分 （共通仕様書 第1編第1章 1-1-22条第6 項に規定する 表1-2、表1-3）	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となつた場合は、全ての工種を重点監督とする。） <input type="checkbox"/> 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
入札・契約方式	<input type="checkbox"/> 入札時VE方式 <input type="checkbox"/> 契約後VE方式 <input type="checkbox"/> 設計・施行一括発注方式 <input type="checkbox"/> プロポーザル方式 <input type="checkbox"/> 総合評価方式	<input type="checkbox"/> 契約前のVE提案に基づき施工しなければならない。 <input type="checkbox"/> 契約後にVE提案を受け付ける。 <input type="checkbox"/> 細部設計の承認を受けなければならない。 <input type="checkbox"/> 本件工事で提案不履行があつた場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む） <input type="checkbox"/> 電子納品対象外	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。電子媒体の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ ）部）とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（平成 24年 7月改訂）を適用
産業廃棄物税		<input type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となつた場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
工事カルテ作成・登録		<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、工事カルテ作成・登録を行うこと。
建設副産物情報交換システム		<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システム（副産物システム、発生土システム）にデータを入力すること。
市内企業優先使用	<input checked="" type="checkbox"/> 市内企業優先使用	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を伊賀市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。
県内産製品優先使用	<input checked="" type="checkbox"/> 建設資材の県内産製品優先使用	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
不当介入を受けた場合の措置	<input checked="" type="checkbox"/> 不当介入を受けた場合の措置	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第1号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があつた時点で速やかに所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行うこと。 (2) (1)により所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
工事实態調査	<input checked="" type="checkbox"/> 工事实態調査	<input checked="" type="checkbox"/> 伊賀市低入札価格調査試行要領第3条で定める調査基準に満たない額で契約し、発注者より工事实態調査の指示があつた場合又は、同実施要領で定める重点調査を経て契約した場合は、工事实態調査に協力すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.5

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
社会保険等未加入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和元年度